

## 既存試料・情報を用いる研究についての情報公開

本学では、医学系研究に協力して下さる方々（以下研究対象者）の利益と安全を守り、安心して研究に参加していただくように心がけております。こちらに記載されている研究については、研究・診療等により収集・保存された既存試料・情報を用いる研究で、直接研究対象者からインフォームド・コンセントを取得することが困難であるため、情報公開をさせていただいております。

こちらの文書は研究対象者の皆様に、情報公開をするとともに、可能な限り研究参加を拒否または同意撤回の機会を保障する為のものになります。

なお、研究参加を拒否または同意撤回されても一切の不利益はないことを明記させていただきます。

受付番号	(倫理) 第 3361 号
研究課題	放射線治療計画の自動化に関する検討
本研究の実施体制	
研究責任者 大学院生命科学研究所（保健学系）放射線治療技術学 教授 村上龍次	
研究担当者 大学院生命科学研究所（臨床系） 放射線治療医学 助教 渡壁孝弘	
研究担当者 医療技術部 診療放射線技術部門 副診療放射線技師長 丸山雅人	
本研究の目的及び意義	
放射線治療計画では、臓器の正確な輪郭抽出が重要であり、放射線治療計画に労力と時間を要しています。放射線治療計画の自動化システムを構築し、作業の効率化と高精度化を目指します。	
研究の方法	
当院で乳癌あるいは頭頸部癌に対する放射線治療を受けられた患者様の放射線治療計画データを活用し、臓器の自動輪郭抽出法を確立します。登録症例を増やすことによって、輪郭抽出の精度向上が期待されます。さらに、層別化指標を開発し、照射ビームや照射線量などの条件を作成する放射線治療計画の自動化システムの構築を目指します。	
研究期間	2025年10月17日～2029年3月31日
試料・情報の取得期間	2015年1月1日～2025年9月30日
研究に利用する試料・情報	
乳癌あるいは頭頸部癌に対する放射線治療を受けられた患者様の放射線治療計画データを研究に利用します。データは研究責任者が熊本大学病院および保健学教育部で保管し、個人を識別できない状態で活用します。研究期間終了後には、情報が外部に漏れることがないよう確実にデータを削除します。	
個人情報の取扱い	
研究に利用する放射線治療計画データはすべて個人を識別できない状態で活用します。	
研究成果に関する情報の開示・報告・閲覧の方法	
本研究の成果は、個々の研究対象者に対する影響はなく、研究成果の開示は予定しません。	
利益相反について	
本研究における利益相反はありません。公正かつ健全な研究を遂行します。	
本研究参加へのお断りの申し出について	
研究利用を希望されない患者様は放射線治療科外来あるいは研究責任者にご連絡ください。	
拒否および同意撤回による不利益は一切ありません。	

本研究に関する問い合わせ

研究責任者 大学院生命科学部研究科（保健学系）放射線治療技術学 教授 村上龍次

(電話：096-373-5463)